



2023年5月15日

森と海の自然科 Bグループ

ロマン漂う山の辺の道（北コース）報告書

山の辺の道は日本最古の道の一つといわれ、数多くの寺院や古墳に巡り合うことができる。

桜井駅からの南コースはハイカーたちも多いが、今日のコースは人が少ない北コースを歩く。

日 時 2023年5月11日（木）晴れ

集 合 10時30分 JR・近鉄天理駅 東口セブンイレブン前

行 程 天理駅・・・石上神宮・・・布留の高橋（布留川）・・・豊日神社・・・石上大塚古墳・・・
白川ダム（昼食）・・・赤土山古墳・・・和邇下神社・・・櫛本駅（解散）

参加者 17名

天理駅を出発し日本最古の石上神宮に到着、この神宮では数多くの鶏が放し飼いにされている。

色鮮やかな羽の東天紅や小国など種類も多く鳴き声もにぎやかであった。鶏は夜明けに鳴いて時を告げることから昔の人々は神聖視したとされ、神宮でも神の使いとして敬われている。

布留の高橋に到着、この橋は万葉集に詠まれた橋で布留川に架かっている。

「石上布留の高橋 高高に妹が待つらむ 夜ぞ更けにける」解説を福嶋さんをお願いする。

豊日神社、石上大塚古墳と足を運び白川ダムに到着する。風が心地よい昼食地であった。

昼食後、白川ダムを出発し赤土山古墳、和邇下神社と歩き JR 櫛本駅に到着する。

15:00 櫛本駅で解散

白川ダムにて



石上神宮で集合写真



写真 福嶋昭治・秦新一 記録 山下幸子